



雪害対策について



除雪作業のポイント

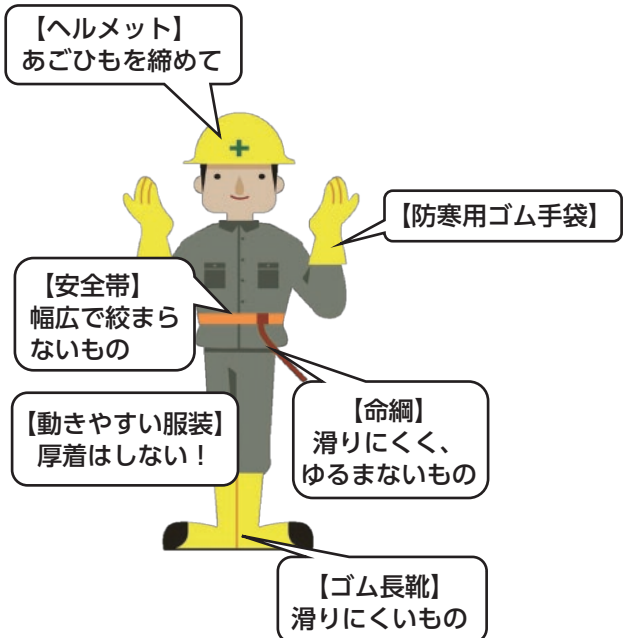
雪下ろし作業には命綱を使いましょう！

- 転落防止のために命綱を使いましょう。
- 命綱を固定するには、専用のアンカーを屋根に取り付ける、反対側の立ち木や家の柱に結ぶなど、状況に応じて工夫しましょう。



作業は必ず2人以上で行いましょう！

- 事故に備えて2人以上で作業をしましょう。
- やむを得ず1人で作業する場合は、家族やご近所に声をかけましょう。
- 携帯電話を持ちましょう。



足場はいつも注意！ はしごはしっかり固定しましょう

無理な作業はやめましょう！

- 体調の悪いときは無理をしないで休みましょう。
- 作業前に準備運動をしっかり行いましょう。
- 十分に休憩を取りながら、何回かに分けて作業をしましょう。

雪下ろしは安全な服装で！

- ヘルメットを正しく着用しましょう。
- 動きやすい服装にしましょう。
- 厚底の長靴は避けましょう。
- すべりにくい防寒性のゴム手袋がお勧めです。



雪害への備え

大雪の日は「外出しないこと」が身の安全を守るための最善の対策です。

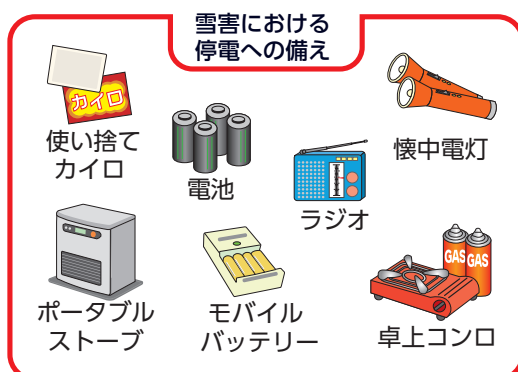
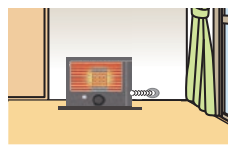
車を運転しているとき

見通しが悪い状況下では、追突事故を引き起こすおそれが高いため、ハザードランプを点灯し、ゆっくりと路肩に寄せる等無理に運転を続けないようにしましょう。



家の中ですぐすとき

F F式暖房機などを使用している場合、給排気口が雪でふさがれると一酸化炭素中毒を起こすおそれがありますので、定期的に給排気口を確認しましょう。



■大雪で車が立ち往生した時

車のエンジンから排出される排気ガスには、一酸化炭素が含まれています。大雪によって車が立ち往生した際、排気口（マフラー）が雪で埋もれてしまうと、排気ガスが床下などにたまり、ボディの隙間や外気導入口などから車室内に入り込む可能性が高まり一酸化炭素中毒を引き起こすリスクが非常に高くなるので、大雪で立ち往生した時には、こまめに除雪しましょう。